

悲緒未だ息まず、さらに作る歌五首

四七〇番

かくのみに ありけるものを 妹も我も 千歳の
ごとく 頼みたりけり

四七一番

家離り います我妹を 留めかね 山隠しつれ
心どもなし

四七二番

世の中し 常かくのみと かつ知れど 痛き心は
忍びかねつも

四七三番

佐保山に たなびく霞 見るごとに 妹を思ひ
出で 泣かぬ日はなし

四七四番

昔こそ 外にも見しか 我妹子が 奥つきと思へ
ば 愛しき佐保山